

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
308	日本文学特殊研究 <Specialized Studies in Japanese Literature>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本文学	伊藤 伸江(ITO Nobue)		後期	木曜：2限
講義題目 Title	中世韻文史の諸問題			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	特になし。			
授業の目的 Purpose	日本文学の真髄である和歌について学び、その表現と理論、特質を理解することで、人間の心と行為を洞察する。 The aim of this course is to learn Waka, the soul of Japanese culture, to understand expressions, theory and specific character of it, and consequently to penetrate into human minds and acts.			
授業の内容 授業の方法 Content	この授業は講義形式で行う。中世和歌の表現技法について、新古今時代の和歌、京極派の和歌を題材にしてその特質を考える。さらに、15世紀の連歌作者心敬・宗祇をとりあげ、連歌がいかにか和歌表現をとりいれたかを考える。 1.中世和歌の特質 2.順徳院とその歌壇 3.制詞と表現 為家と頓阿 4.京極為兼の思想 5.天皇たちの和歌 伏見院 6.天皇たちの和歌 花園院と光厳院 7.今川了俊と冷泉派 8.正徹和歌の言葉 9.心敬の感覚表現 10.宗祇の百韻 独吟と座			
教科書 テキスト Textbooks	授業においてプリントを配布する予定。			
参考書 References	久保田淳『新古今和歌集全注釈』(全六巻・角川書店) 佐藤恒雄『藤原為家研究』(笠間書院) 岩佐美代子『京極派和歌の研究』『京極派歌人の研究』(笠間書院) 伊藤伸江・奥田勲『心敬連歌 訳注と研究』(笠間書院)			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	授業において配布または指示した和歌・連歌・歌論とその原典を積極的に通読する。その際には、歌の訳出を常に意識して取り組む。			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	各々の授業に対する取り組みの姿勢、理解度、到達度を出席などではかり(30パーセント)、洞察の深さと総合的な理解度を期末試験ではかり(70パーセント)			
連絡方法 Contact information	授業の前後で連絡を取る。			